

近畿部会第152回例会

- と き 令和元年（2019）8月31日（土）午後2時00分～5時00分
- ところ 滋賀県庁北新館3階 中会議室（大津市京町4丁目1番1号）

■テーマ 学校資料の未来を考える

—『近代滋賀の教育人物史』編纂を振り返って—

- 報告者 宮坂朋幸氏（大阪商業大学）
久保田重幸氏（愛荘町立愛知中学校）
- コメント 和崎光太郎氏（浜松学院大学短期大学部）

■内容

平成30年（2018）6月、大学教員、小・中・高校教員、元図書館職員などで構成される滋賀県教育史研究会が『近代滋賀の教育人物史』を上梓しました。

本書は、県の行政文書（歴史的公文書）や、栗東歴史民俗博物館の「里内文庫」、個人・学校に残された様々な史料をもとに、人物の視点でまとめられた教育史です。滋賀県は、県教育委員会などが編集主体となった『〇〇県教育史』を唯一もたない県であり、貴重な成果といえます。

その一方で、本書編纂の過程では、学校の増改築や統廃合、市町村合併などを機に失われていく学校資料の現状に、強い危機感を覚えられたようです。本例会では、執筆者の皆様、本書の成り立ちや研究会の歩みをご紹介いただき、学校資料の保存と活用に向けた課題を探ります。

どうぞご参加ください。



滋賀県庁周辺 略図

■お申し込み方法

参加フォーム（<http://jsai.jp/iinkai/kinki/kinki-top.html>）よりお申し込みいただくか、事務局までメール（jsai@archives.city.amagasaki.hyogo.jp）にてお申し込みください。